（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（北信地域）

平成３０年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	子供の居場所作り事業（第２回笑う門にはハッピーカムカム）
事業主体 （連絡先）	信州Ｇプロジェクト 長野県長野市若里７−７−２　オフィスリンク
事業区分	保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,726,310 円（うち支援金：　1,268,000 円）

事 業 内 容

＜第二回フェス＞
〇平成30年7月7日（土） 来場者数　延べ550人　会場→中野市民体育館
〇こども縁日（信州プロレスと鬼ごっこ、コマ遊び、積み木、木製鉄砲、ペーパークラフト、箱膳作り、パトカー体験ゆるキャラ、児童のパフォーマンス、お笑いプロレス、折り紙、各お店出店）
〇フードドライブ、子供食堂の発信
〇シングルファミリー支援プロジェクトのハートフルファミリーの発信
〇児童施設支援プロジェクトのタイガーマスク化計画の発信

（活動写

【　　】

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 平成29年第1回フェス来場者数延べ400名→平成30年第2回フェス来場者延べ550名の約140%増加

※　目標1000名を掲げていましたが、フェス準備から当日にかけて台風に見舞われ、それでも昨年の来場者数を上回り、多くの笑顔を生み出す事に成功しました。

- フードドライブを行い、イオン中野店、中野部会郵便局、各子供食堂の協力により、1085点の品物が集まり、子供食堂、シングルマザー、児童施設へと手渡す事ができました。衣類やカバン、学生服などは、「だがしやG」に無料コーナーを設置し、喜んで頂いています。

【目標・ねらい】

①記憶に残る一日作り
②子供～大人の出番作り
③人と人の「つながり」
④子供が子供らしく遊ぶ

※自己評価【　A　】

【理由】
- フェス＋フードドライブ＋だがしやＧ＝地域支援
  ※新しい支援の形
- 昨年より、参加者が増加

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 今回の新たな地域支援の流れを中野市だけではなく、長野市、上田市、松本市などでも展開したいと考えています。また子供の「生きる力」を育てるためにフェスや「だがしやＧ」などで繋がった仲間で無料の子供塾、子供達と野菜を育てる子供ファーム、子供が子供らしく遊べるプレイパークなど「信州の笑顔のために」に活動の継続、拡大していきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「Ａ」：予定を上回る効果が得られた　「Ｂ」：予定していた効果が得られた
「Ｃ」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある